

施策	施 策 名
312	生物の多様性の確保

人間の生存基盤である生態系への配慮を進め、多様な野生生物の生育・生息環境の保全、創出が行われるよう、山から海に至る野生生物の生育・生息場所を体系的に保全し、地域の多様な野生生物の保護対策を支援します。

貴重・希少な野生生物の適切な保護管理が行えるよう、県下の野生生物の現況を調査・データベース化するとともに、鳥獣保護施設の設定・管理、傷病鳥獣の救護体制を整備し、適切な狩猟の指導、監視等に取り組んできました。また、山から海までの流域を一つの生態系単位とした多様な野生生物の生息空間の保全が行えるよう、野生鳥獣にやさしい森林づくりなどに取り組んできました。

平成12年度においては、引き続き野生生物の保護・保全を図る調査を進めるとともに、さらにニホンザルの適正な保護のための保護管理計画策定や地域住民の参加による県版レッドデータブックづくりなど県民等との協働による野生生物の保護対策に力を入れていきます。

### 主な事業

- 1 (新)野生生物緊急保全事業 (予算額 24,879(24,879)千円)  
【(101)貴重・希少な野生生物の保護事業】〔環境部〕  
住民との協働により、地域が守りたい野生動植物の情報を整備し、保全活動を活性化させるほか、野生動植物保護専門アドバイザー等を配置します。
- 2 (新)特定鳥獣保護管理計画策定・実施事業 (予算額 3,400(3,400)千円)  
【(101)貴重・希少な野生生物の保護事業】〔環境部〕  
住民との協働により野生鳥獣と人間の共存、共生を確保していくため、県民、市町村、県などが一体となってニホンザルの保護管理計画を策定します。
- 3 (新)ツキノワグマ生息実態調査事業 (予算額 6,088(3,044)千円)  
【(101)貴重・希少な野生生物の保護事業】〔環境部〕  
絶滅の恐れのある紀伊半島のツキノワグマを奈良県、和歌山県との合同で調査し、紀伊半島レベルの保護管理計画を策定するための基礎資料を整備します。
- 4 ニホンジカ生息実態調査事業 (予算額 8,220(4,110)千円)  
【(101)貴重・希少な野生生物の保護事業】〔環境部〕  
本県に生息するニホンジカについて、分布状況、生息数や環境利用状況の現状を把握し、保護管理対策を推進するための基礎資料を整備します。

### 《関連する施策名》

- 311 多様な自然環境の保全・創出